

Homeドメインにおける三井住友カード株式会社（SMBCグループ）との 合併会社設立に関する基本合意書の締結について

2024年7月17日 株式会社マネーフォワード

目次

- | | | |
|----|-------------------|------|
| 01 | 基本合意書の概要 | P.2 |
| 02 | 背景と目的 | P.5 |
| 03 | マネーフォワードグループの成長戦略 | P.13 |
| 04 | 今後のスケジュール | P.16 |

基本合意書の概要

新設する合併会社の概要

当社及び三井住友カード（「SMCC」）は、国内最大のPFM^{*1}サービス『マネーフォワード ME』にSMBCグループが有する金融サービス（Olive、Vポイント等）を組み合わせ、パーソナライズされた金融サービスを提供することを目的に、個人向け領域における合併会社の設立に基本合意^{*3}。最終契約締結は2024年9月末を予定。メガバンクグループとの合併会社設立は三菱UFJ銀行とのBiz Forward^{*4}に続き2社目。

ストラクチャー全体像



当社のPFM^{*1}サービス『マネーフォワード ME』を含む個人向け事業（Money Forward Homeドメイン事業）を吸収分割^{*2}

合併会社の概要

| | |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者の役職・氏名（予定） | 代表取締役会長 大西 幸彦 （三井住友カード 代表取締役社長 兼 最高執行役員） 代表取締役社長 辻 庸介 （マネーフォワード 代表取締役社長CEO） |
| 事業内容 | PFM ^{*1} サービスの開発・提供 |
| 事業開始 | 2024年12月（予定） |
| 決算期 | 11月末（予定） |
| 出資比率 | （本譲渡及び本出資前）当社100% （本譲渡及び本出資後）当社51%、SMCC49% |
| 対象事業売上（2023年11月期） | 3,523百万円 （移管対象外のNext Solution社売上を除くHomeドメイン売上高） |

*1 「Personal Financial Management」の略称であり、個人の金融資産管理、家計管理をサポートするサービス。

*2 Money Forward Homeドメインの事業のうち、グループ会社であるNext Solution社及びマネーフォワードプライベートバンク社、また持分法適用会社であるSUSTEN社の株式は合併会社の対象外。

*3 基本合意書における定めを踏まえて、本取引（スキームは次頁参照）に係る法的拘束力のある最終契約の内容について誠実に協議することを合意しております。

*4 中小企業向けオンラインファクタリング事業及び請求代行事業を主な事業内容として2021年8月に設立した合併会社。出資比率はマネーフォワード51%、三菱UFJ銀行39%、三菱UFJファクター株式会社10%。

本取引のスキーム

下記の3ステップにより、出資比率をマネーフォワード51%、SMCC49%とする合弁会社を設立予定。当該合弁会社の出資前の**株式価値評価額を338億円とし、SMCCへの一部株式の譲渡（140億円）とSMCCを引受先とする新会社への第三者割当増資（50億円）**を行う*1スキーム。（なお、本頁に記載の金額は全て公表日時点での概算値。）



*1 第三者機関であるみずほ証券より株式価値算定書を取得。なお、新設子会社の株式価値及び譲渡価額は現時点で想定される新設子会社の事業計画をもとに算出した概算値であり、最終的な譲渡価額については、SMCCと協議の上で最終契約において定められる予定。

*2 Homeドメインについての詳細はP.6。Money Forward Homeドメインの事業のうち、グループ会社であるNext Solution社及びマネーフォワードプライベートバンク社、また持分法適用会社であるSUSTEN社の株式は吸収分割の対象外。

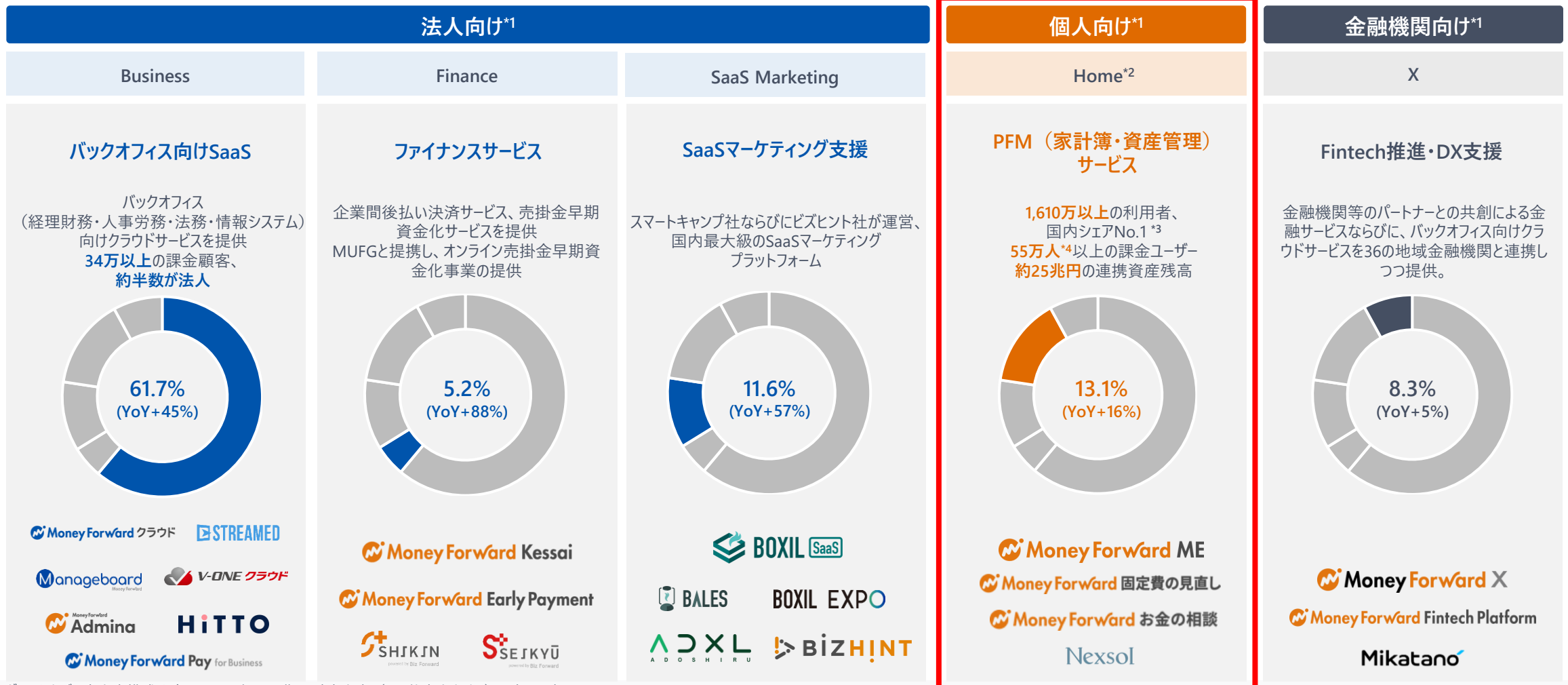
*3 Xドメインについては2024年12月2日を効力発生日として新設分割により新たに設立する株式会社マネーフォワードエックスに承継を予定。詳細は2024年6月25日発表の『会社分割（簡易新設分割）による子会社設立に関するお知らせ』を参照。

*4 譲渡益に対する課税考慮前の数値。

背景と目的

Money Forward Homeドメイン事業の概要

Money Forward Homeドメインでは、「一人ひとりのお金を前へ。自分らしくをもっと前へ。」をMissionに掲げ、家計簿・資産管理アプリ『マネーフォワード ME』を中心に個人向けの家計・お金に関する事業を展開。



*1 グラフならびに売上高構成比率は、2023年11月期累計売上高（その他売上を除く）に占める内訳。

*2 Money Forward Homeドメインの事業のうち、グループ会社であるNext Solution社及びマネーフォワードプライベートバンク社、また持分法適用会社であるSUSTEN社の株式は吸収分割の対象外。

*3 Homeドメインにおいて提供する『マネーフォワード ME』の利用者数。利用者数は、『マネーフォワード ME』アプリのダウンロード数及びWEB登録者数の累計。

*4 2024年5月末現在、Homeドメインにおいて提供する『マネーフォワード ME』のプレミアム課金ユーザー数。

国内No.1*1の家計簿・資産管理アプリ『マネーフォワード ME』

『マネーフォワード ME』は、家計簿アプリ・資産管理アプリどちらにおいても**利用率・認知率が3年連続No.1*1**。

利用者数は1,610万人*2を突破、連携可能な金融関連サービス数は2,464*3となり、様々なユーザーの家計・資産の見える化を実現。

一定の機能まで無料で使えるフリーミアムモデルであり、より豊富な機能が使える「プレミアムプラン（スタンダードコース）」（月額500円）と、資産形成まで管理可能な「プレミアムプラン（資産形成アドバンスコース）」（月額980円）を提供。

様々な金融関連サービスを一元管理

2,464以上の金融関連サービスに対応し、
連携できる金融関連サービス数No.1*3



自動分類で家計や支出を見える化

毎日の支出を、食費や日用品などに自動で分類。何にお金を使っているのか、今月あとどれだけ使えるのか、簡単に確認できる。



銀行や証券の連携で資産全体も管理

生活用や貯金用のいくつもある銀行口座や、証券口座を連携すると、あなたの資産をまとめて確認できる。



*1 調査委託先：マクロミル、回答者：20～60代の家計簿アプリ利用者 1,034名／20～60代の資産管理アプリ利用者 1,035名、調査期間：2023年9月11日～2023年9月12日、調査手法：インターネットリサーチ。
家計簿アプリは、スマホやタブレットを使って家計簿を管理できるアプリ、資産管理アプリとは、スマホやタブレットを使って複数の資産を一元管理できるアプリを指す。

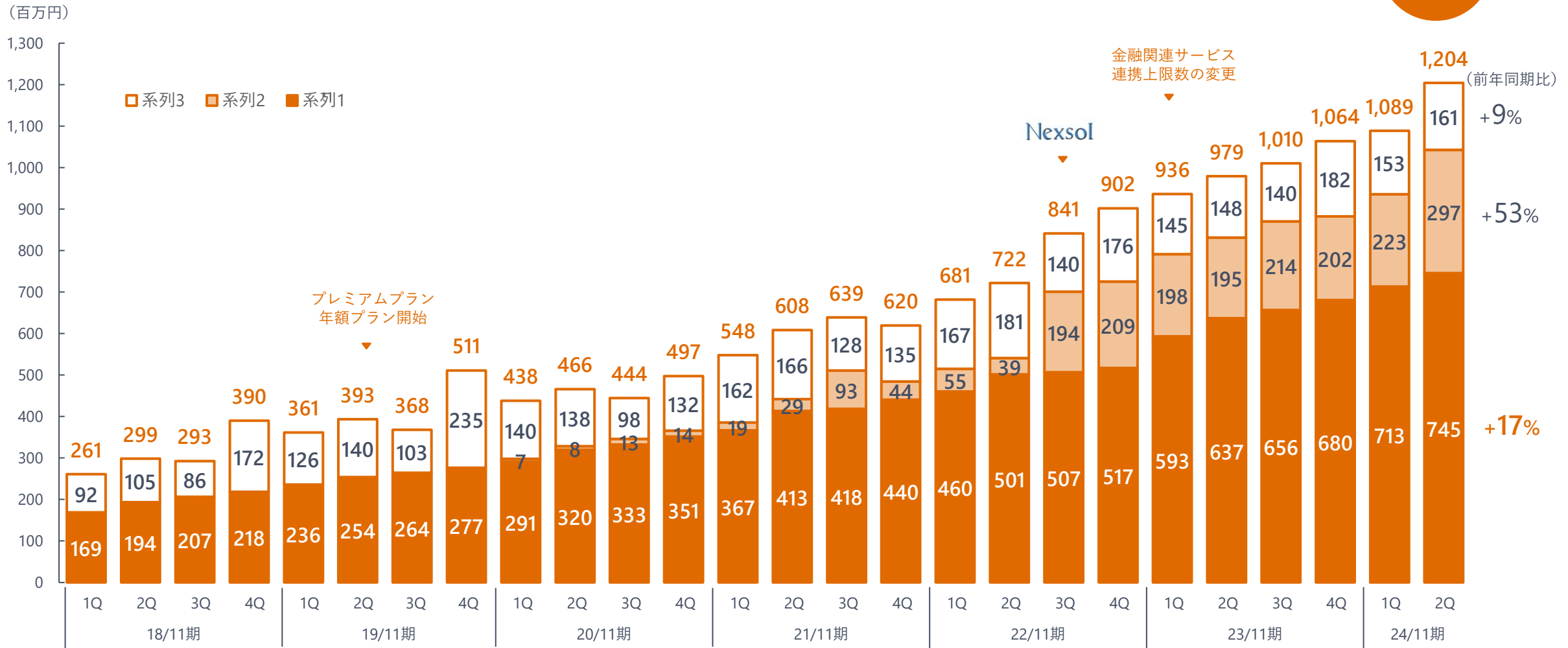
*2 Homeドメインにおいて提供する『マネーフォワード ME』の利用者数。利用者数は、『マネーフォワード ME』アプリのダウンロード数及びWEB登録者数の累計。

*3 自社調べ、2024年5月末現在。

Homeドメイン 四半期 売上高推移

『マネーフォワード ME』のプレミアム課金収入は**前年同期比+17%**と堅調な成長を継続。
FY24 2Qより『マネーフォワード ケア<はやめにそなえる介護+傷害補償>』の提供を開始。

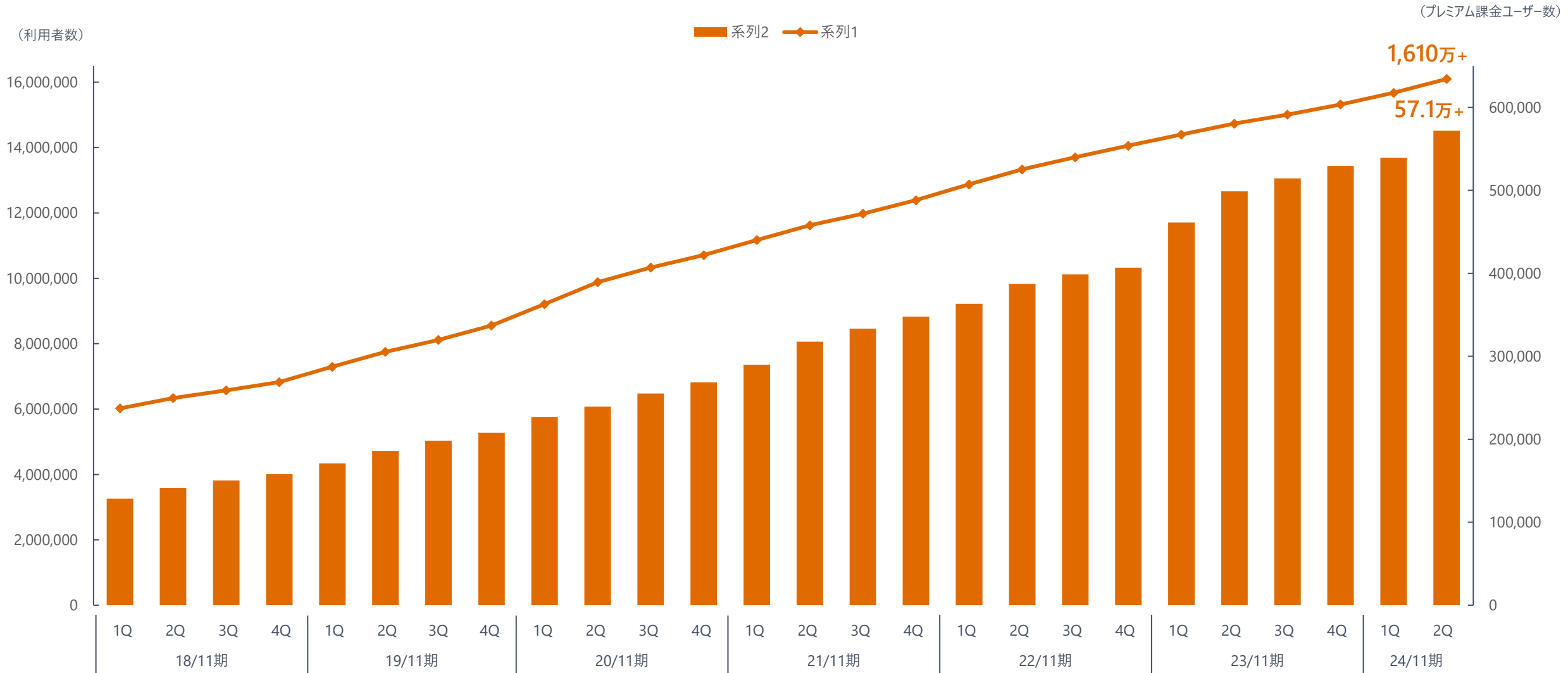
前年同期比
+23%



*1 金融関連サービス収入は、『マネーフォワード お金の相談』、『マネーフォワード 固定費の見直し』、Next Solution社の収入など。
* 本ページで示されるMoney Forward Homeドメインの売上高に含まれる事業のうち、グループ会社であるNext Solution社、マネーフォワードプライベートバンク社は合併会社の対象外。

『マネーフォワード ME』利用者数 / プレミアム課金ユーザー数推移

利用者数は1,610万*1、課金ユーザーは57万を突破と順調に成長。



*1 Homeドメインにおいて提供する『マネーフォワード ME』の利用者数。利用者数は、『マネーフォワード ME』アプリのダウンロード数及びWEB登録者数の累計。

Oliveの概要

SMBCグループが提供するモバイル総合金融サービス『Olive』では、銀行口座やカード決済に加え、証券投資、保険等、ユーザーの「お金」の課題を解決できる良質で豊富な金融サービスを1つのプラットフォームで提供。

2024年4月より7,000万ユーザーのTポイントと1,600万ユーザーの旧Vポイントが統合した、新たな「Vポイント」も始動。

Olive
Fit For Your Cashless Living.



- **フルモバイルの総合金融サービス**
 - 銀行・決済・保険・証券の区別を感じることなくアプリ上でシームレスに体験
- **世界初、1枚4役のフレキシブルペイ**
 - キャッシュカード、デビット、クレジット、ポイント払いをオールイン
 - アプリ上でフレキシブルに切り替え可能
- SMBCグループのリテールビジネス戦略の柱として、**グループの枠を超えたトッププレイヤーとの協業・提携**によりサービス拡充
 - SBI証券、ライフネット生命、三井住友海上等
- 2023年3月のサービス開始から1年あまりで**230万件を超えるアカウント**開設
 - **2028年までに1,200万アカウント**を目指す
- 日本最大規模のポイントサービス「**Vポイント**」
 - 7,000万ユーザーのTポイントと1,600万ユーザーの旧Vポイントが統合

合併会社のビジョン：国内No.1の個人向けお金のプラットフォーム

両社の強みを活かし、ユーザーに寄り添いながら「使う、貯める、増やす、管理するをもっと便利に、もっとお得に」を実現する新たな金融体験を創出することで**個人向け事業の加速**を目指す。

 **Money Forward ME**

お金の見える化サービス



Olive

金融・決済サービス

これまで通り中立性を維持しながら
サービスや利便性はそのままに
家計・資産管理をサポート

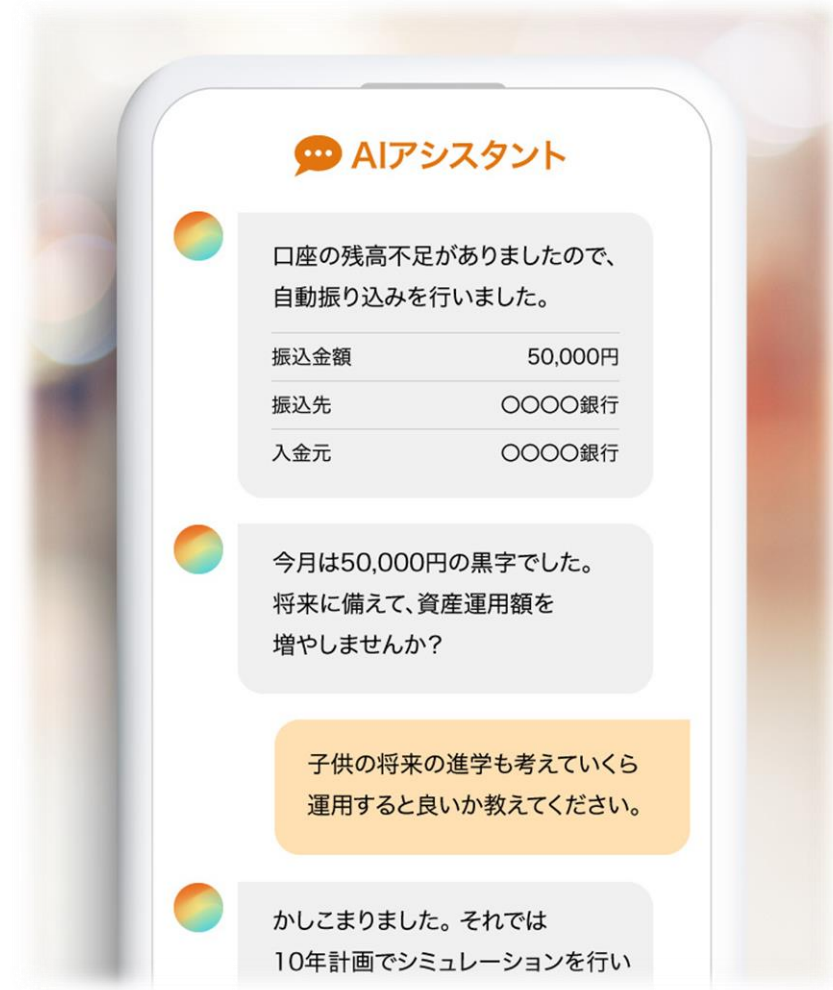
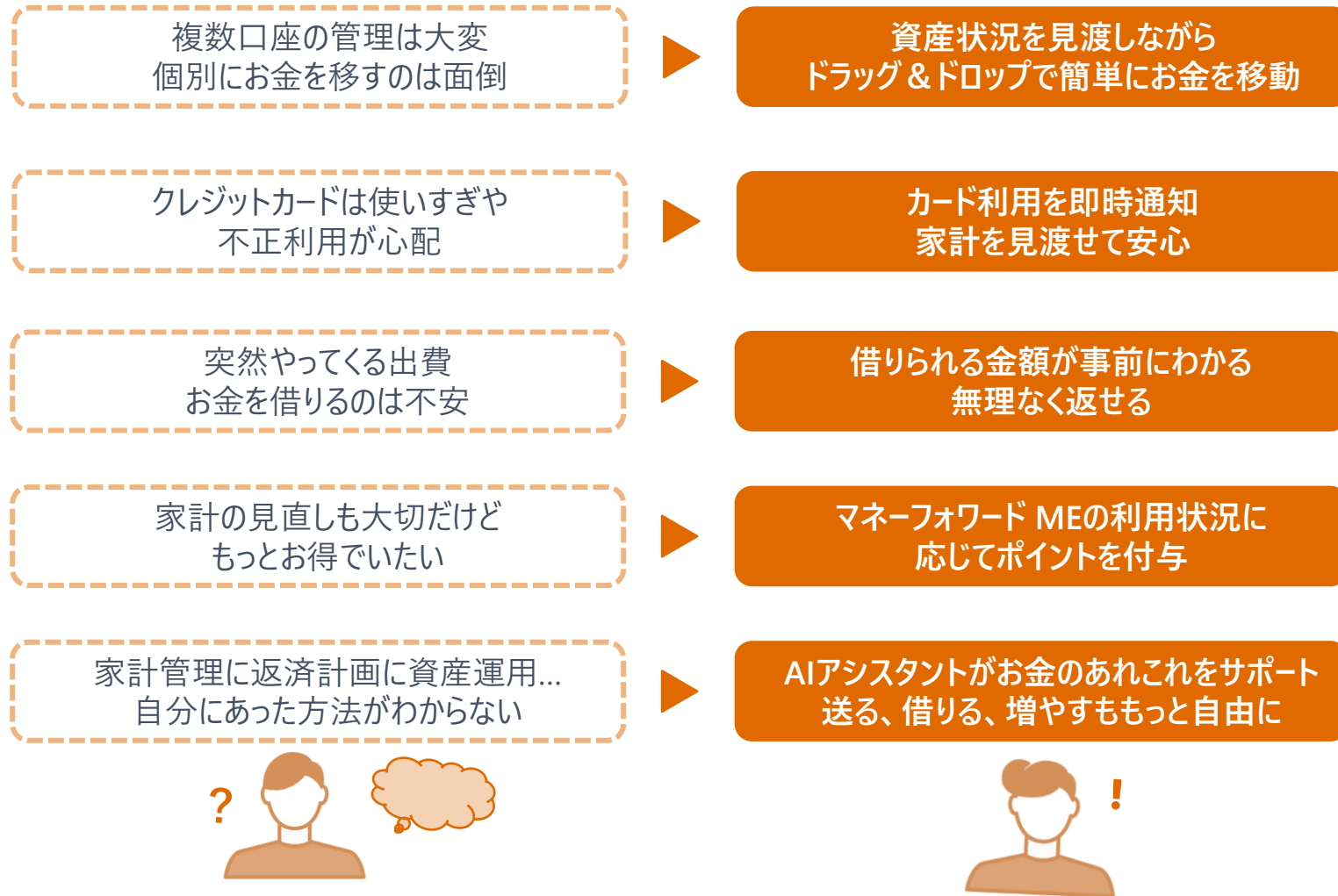


マネーフォワード MEと金融サービスを組み合わせ
家計の「見える化」から「改善できる」
アクションへつながり、もっと便利に

よりオープンで、よりパーソナライズされた
お客さま起点の金融サービスを目指す

両社の提携によってユーザー体験を大きく向上

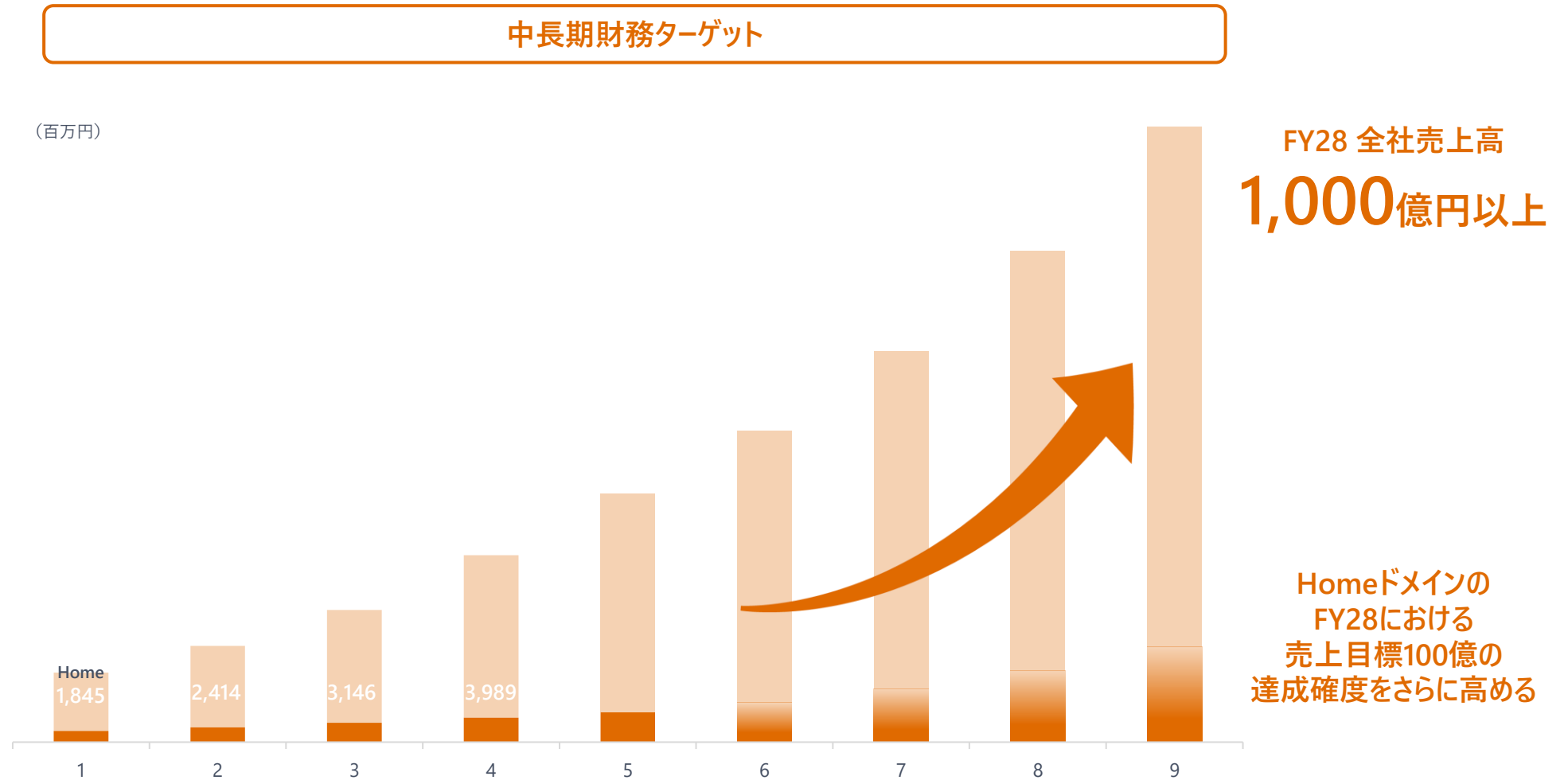
『マネーフォワード ME』と『Olive』だからできる、これまでにないユーザー体験を提供。



マネーフォワードグループの成長戦略

Homeドメインの加速と中長期財務ターゲット

本事業提携によりHomeドメインの事業成長を加速させ、中長期の財務ターゲットである28/11期通期売上高1,000億円以上、EBITDA300億円以上の達成確度をさらに高める。



SMBCグループとの法人顧客向け事業における提携について

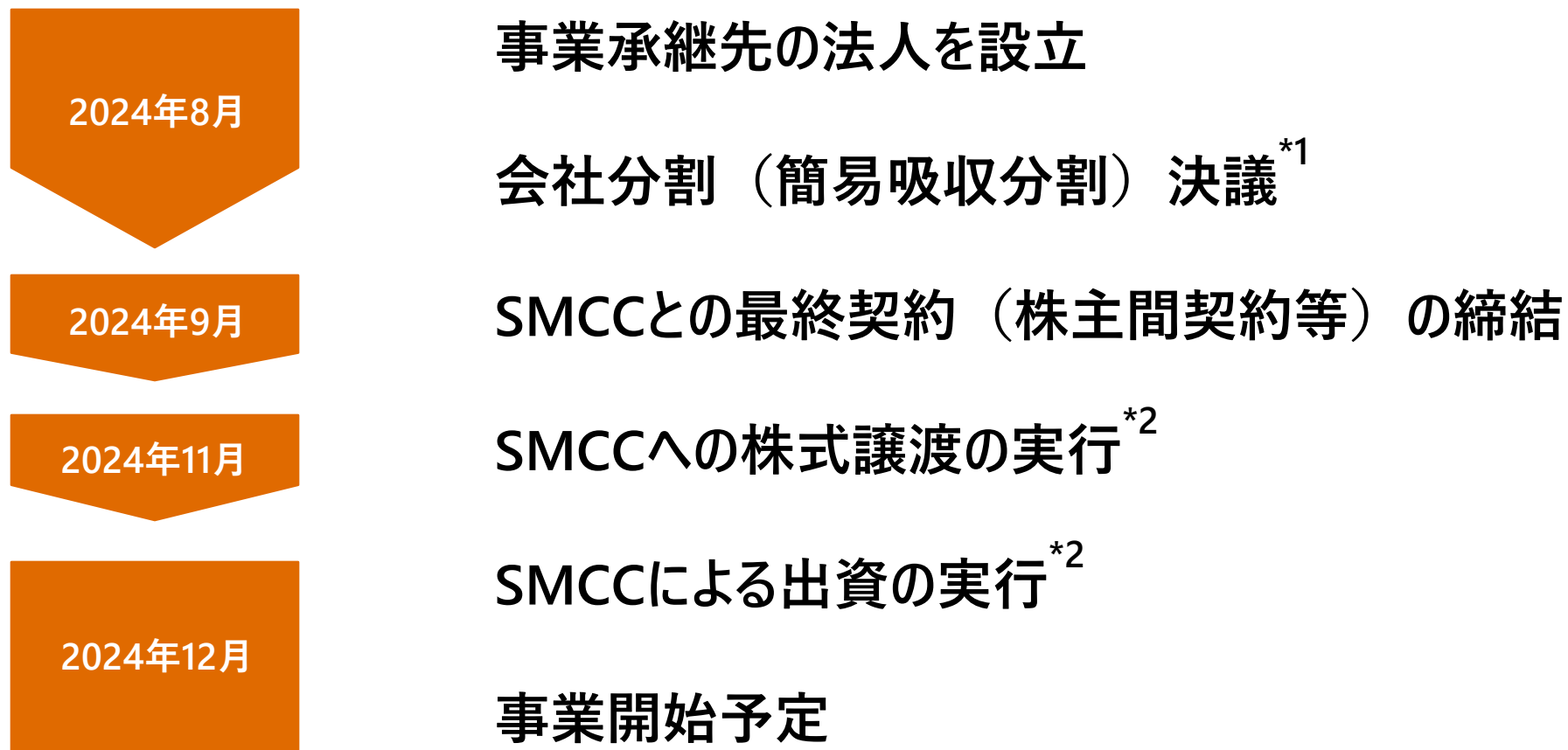
本基本合意の範囲は個人向け事業にとどまらず、マネーフォワード及びSMBCグループの持つサービスと顧客基盤を組み合わせ、**法人顧客向けの共同事業も今後検討予定**。



法人顧客向けサービスにも
「開かれた」総合金融サービスの考え方を

今後のスケジュール

今後のスケジュール（予定）



*1 効力発生は11月を予定。

*2 一体の取引として順次実行予定。

本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社グループの関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

なお、記載されている会社名及び商品・製品・サービス名（ロゴマーク等を含む）は、各社の商標または各権利者の登録商標であります。